

製造販売元：日本イーライリリー株式会社

販売元：田辺三菱製薬株式会社※

※ 田辺三菱製薬株式会社は 2025 年 12 月 1 日から田辺ファーマ株式会社に社名変更しました。

市販直後調査

2025年4月～2025年10月

2025 年 9 月



市販直後調査 中間結果概要のお知らせ

集計期間：2025 年 4 月 11 日～2025 年 7 月 10 日

(市販直後調査期間：2025 年 4 月 11 日～2025 年 10 月 10 日)

謹啓 益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。

平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、持続性 GIP/GLP-1 受容体作動薬「ゼップバウンド®」の市販直後調査におきましては、先生方に多大なるご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

このたび、市販直後調査の中間結果として、集計期間中（2025 年 4 月 11 日～2025 年 7 月 10 日）に収集されました 13 例 18 件の副作用情報をまとめましたので、ご報告いたします。

本情報が日常のご診療の一助となれば幸甚に存じます。

先生方におかれましては、引き続き、本調査にご協力賜りますようお願い申し上げます。

今後とも、弊社製品のご使用にあたりましては、適正にご使用いただきますとともに、副作用などの好ましくない事象をご経験の際には、弊社医薬情報担当者（MR）までご連絡くださいますようお願い申し上げます。

謹白

本お知らせは、ご報告いただいた情報を速やかにお伝えすることを目的としており、今後の調査の進行、詳細情報の検討により内容が変更となる可能性がありますので、ご了承賜りますようお願い申し上げます。

副作用集積状況

2025年4月11日から2025年7月10日までに収集した副作用（本剤との因果関係が否定できない有害事象）は13例18件でした。詳細は表1をご参照ください。

表1. 副作用集積状況一覧（集計期間：2025年4月11日～2025年7月10日）

報告副作用		報告件数		
器官別大分類	副作用名（MedDRA 基本語）	重篤	非重篤	合計
感染症および寄生虫症	感染	0	1	1
眼障害	視力低下	0	1	1
胃腸障害	悪心	0	8	8
	嘔吐	0	2	2
	腹部不快感	0	2	2
	腹痛	0	1	1
	下痢	0	1	1
一般・全身障害および投与部位の状態	倦怠感	0	1	1
	疼痛	0	1	1
総計		0	18	18

注意事項：

- ・ 報告された副作用は、ICH 国際医薬用語集日本語版MedDRA/J ver.28.0の基本語（PT：Preferred Term）でコード化し、記載しております。
- ・ 本情報は医療機関から報告された一定期間の情報を集計した内容であり、新たな追加情報が得られた場合には、内容が変わることがあります。

医薬品リスク管理計画書における注目すべき事象

<胃腸障害>

悪心 8例 8件、嘔吐 2例 2件、腹部不快感 2例 2件、腹痛 1例 1件、下痢 1例 1件が報告され、いずれも非重篤な症例でした。

本剤投与後に胃腸障害が現れることがあります。電子添文の「7. 用法及び用量に関連する注意」に記載されているとおり、本剤投与中、特に用量漸増期間中には胃腸障害に十分注意してください。

胃腸障害等の発現により忍容性が得られない場合は、減量又は漸増の延期を考慮ください。また、下痢、嘔吐により脱水が続発し、急性腎障害に至るおそれもあるため、患者さんの状態に注意してください。胃腸障害については、以下のウェブサイトにも掲載しております、医療従事者向け資料（ゼップバウンド®皮下注アテオス®に関する適正使用のお願い）に記載されている対処方法および 患者さんへの説明事項をご参照ください。

本剤の適正使用のお願い

医療従事者向け資料（ゼップバウンド®皮下注アテオス®に関する適正使用のお願い）および

患者向け資料（ゼップバウンド®皮下注アテオス®を使用する患者さんへ）を作成しております。本剤の使用に際しまして、引き続き電子添文及び医療従事者向け資料を熟読の上、適正使用をお願いいたします。各種資料をご要望の場合は、弊社 MR にお申しつけください。

以下ウェブサイトからもご確認いただけます。

日本イーライリリー株式会社

医療関係者向けウェブサイト：<https://www.lillymedical.jp/ja-jp/zepbound>

田辺ファーマ株式会社

製品情報ホームページ：<https://medical.tanabe-pharma.com/di/product/zep/>

®：登録商標
ZEP-N008(R1)
2025 年 12 月改訂